



問われる地域の防災力

コミュニティ振興協議会長 江尻 東磨

このたびの地震により、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。また、大勢の方々から救援ボランティア、義援金、物資等をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

十月二十三日午後五時五十六分ころ発生した地震はライフラインはもとより、中越地区全域に住宅破壊や道路、農地などへ大きな被害をもたらしたことが特徴でした。
避難所となったコミュニティには、遠方の親戚や友人からの安否確認、避難場所照会等の電話が相次ぎました。しかし、北条地域の情報収集基地および責任者が設置されていないため、捜索に戸惑い、大勢の方々にご迷惑をおかけしました。

このことを一つとつても、地域住民の総合情報管理や発信を誰がするのか、問われます。
避難所に指定された五施設のうち、コミュニティセンターと北小学校も大きな被害を受け、危険な避難施設となっていました。耐震性、耐水性、耐風性などの日常点検も大事な防災活動だと痛感いたしました。

私たちは今回の中越地震を教訓に、地域の防災力、危機管理能力の向上のために、総代会、コミュニティ、北条地区の避難と被害状況

北条地区
コミュニティ会
振興協議会
TEL25-3355

ほった ゆうだい

関係諸団体が連携を図りながら役割を明確にしなければなりません。更に組織の確立、行動計画、資機材の備蓄、教育訓練、復旧などの体制整備に、早急に取り組んでまいりたいと思えます。
最後に、被災された皆さまが一日も早く、安心で安全な生活ができますようお祈り申し上げます。

北条地区の避難と被害状況

今回の地震について、各町内会長さんから情報を提供していただきました。概要は、次のとおりです。

地震発生時の対応
十月二十三日(土)、午後五時五十六分地震発生。柏崎市震度5弱。午後六時三十分、市は災害対策本部を設置。

極めて激しい揺れのため、室内にいられず、ほとんどの人は屋外に逃げ出した(集落班程度の小集団で、三十四時間も屋外避難を続けた集落もありました)。その後、それぞれの避難所へ徒歩や車で避難移動を始めました。

集落によっては、危機事情により避難所に行くことができず、広場にテントを張り、たき火やストーブで暖をとり、炊き出しで一夜を過ごしました。
また、自家用車の中で危険回避をした人もたくさんおりました。

避難所の開設状況

【施設内】

- 北条南小 120人
- 北条中 100人
- コミセン 170人
- 北条北小 147人
- 大広田公会堂屋外テント 19人

(十月二十三日午後十一時現在・対策本部)

被害状況
【一般家庭】
応急危険度判定結果による危険家屋(赤札)、要注意家

屋(黄札)の判定家屋数は次のとおり。
(十一月十八日現在・対策本部)

大字	赤札	黄札
南条	2戸	2戸
本条	1戸	1戸
北条	2戸	1戸
東条	0戸	6戸
小島	1戸	1戸
山澗	0戸	6戸
旧広田	5戸	6戸
大広田	4戸	3戸
西長鳥	5戸	4戸

このほか、屋根瓦崩落、壁の崩壊・亀裂、地盤沈下、石垣・ブロック塀の倒壊、土蔵・車庫および物置小屋等の破損が多数あり。

【公共施設等】
道路および歩道の陥没と寸断、水道や集落配水管の破損、JR越後広田駅付近線路敷の崩壊、堤防の崩れ、市指定文化財の一部破損、コミュニティ・商工会・北小学校の一部損傷等、多数の被害がありました。

